

輝け雪のまち宣言から20年

今年度は、雪の活用や雪に親しむ活動などを進め、雪国に生きる者としての誇りをもちながら、明るく豊かな雪と共生するまちづくりを目指すことを宣言した「輝け雪のまち宣言」から、20周年の記念の年になります。

ここで、あらためて雪の持つ魅力や可能性を再認識するとともに、持続可能な雪と共生するまちづくりを推進し、発信していくために、様々な事業を町利雪技術開発センターと沼田町利雪研究会が中心となり実施します。



輝け雪のまち
北海道沼田町

今後開催される主な事業予定

- ・ 7月15日（金）第15回雪の市民会議 in 沼田
～16日（土）場所 町民会館ほか
- ・ 7月30日（土）サマースノーパーク
場所 沼田式雪山センター
- ・ 8月28日（日）北海道マラソンでの「雪を使ったランナーサポート」
場所 前田森林公園内サポートエリア（札幌市手稲区）

随時開催予定の事業

- ・ 雪氷桜プロジェクト 2022
- ・ 真夏の雪宅
- ・ 上記の事業以外にも、毎週どこかで夏に雪のある光景が展開されます。

利雪学習特別授業「雪は新しいエネルギー」

沼田町の雪研究の立役者

媚山政良名誉教授の授業が行われました



6月21日（火）沼田小学校（中川浩之校長）6年生を対象に「雪は新しいエネルギー」と題し、利雪学習特別授業が行なわれました。

小学校6年生の国語の教科書に掲載されている「雪は新しいエネルギー」の著者である室蘭工業大学の媚山政良名誉教授を講師に迎え行われた特別授業は、厄介者だった雪を味方にした雪冷熱エネルギーの利用は環境にやさしく、SDGsにつながるという話や、雪1トンで二酸化炭素を30kg抑制できるなど具体的な利雪の効果について授業していただきました。

授業の最後に媚山教授から「雪は好きになりましたか？」という問いかけに児童たちは大きな声で「はい」と返事をして、「雪の利用価値を知ることができて良かったです。」と感謝の言葉を贈りました。